



こうきた 7月号

杉並区立高円寺北子供園

幼児のために学び続ける

園長 須田なぎさ

短時間保育を受られている保護者の皆様には、毎月降園時間の変更にご協力いただき、ありがとうございます。午前保育（11時45分降園）の日、子供園の職員は、園内で研究をしたり、研修会に出かけたりしています。

また、杉並区の子供園では、区内6園の保育者が集まり、杉並教育研究会子供園部会を月に1回行っています。今年度は「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを楽しむ幼児を育てるための指導の工夫～音楽的な遊びを通して～」というテーマで、幼児理解を深め、保育者の指導や環境の在り方を研究しています。

6月9日に、杉並教育研究会子供園部会による研究保育が、他園で行われました。令和2、3年は、コロナ禍で、集合研修が中止されていたので、久しぶりに保育者が集まり研究保育を行うことができました。

研究保育では楽器を使った活動に焦点をあて、この時期の幼児の発達段階に合わせた活動内容を考えます。例えば、どんな楽器や曲がよいか、座って鳴らすと落ち着くか、立ったほうがリズムにのるか、歩きながらすると楽しいか、などです。講師の先生からは、幼児の姿を読み取り、その読み取りから、幼児に寄り添った活動内容を精選するとよいと、ご指導いただきました。



私たち保育者は、活動内容を考えるとき、学級の幼児の実態とその時期に育てたい経験内容をすり合わせて、楽しい活動になるように、必要なもの、場を用意し、声かけの仕方なども考えます。保育後、幼児の反応や様子から振り返り、よりよい保育を目指して、明日以降どのようにするかを考えて、教材研究も大切にしています。研究会での学びをもとに、保育者たちは、自分自身の保育を改めて見直し、新たな課題に向かって挑戦し続けているのです。

保護者の皆様も、お子さんへの声かけや対応について、悩んだとき、そのままにするのではなく「～してみようかな?」「怒らない言い方をしてみよう。」など、お子さんの様子を見ながら試行錯誤されていると思います。今年度始めた「すこやか子育て支援講座」に参加されている方も多数いらっしゃいますね。

このように、高円寺北子供園の保育者も保護者も、日々学び続けていることで、一人ひとりの子どもたちが、笑顔で生き生きと主体的に過ごせるようになるのだと思います。

6月後半から、5歳児も4歳児も個人面談を行います。子供園での姿、ご家庭の姿を共有し、共にお子さんの育ちを支えていきましょう。ご協力お願いいたします。



《7月の保育》

★4歳児 たんぽぽ組

子どもたちは、空き箱や小さい画用紙などの身近な素材を選んで、作ることを楽しんでいます。また、友達のしていることにも興味をもち、同じ様な物を作ったり同じ場で遊ぼうとしたりする姿も見られるようになってきました。

今月は、遊びの中で、友達と触れ合ったり関わったりする楽しさを感じられるようにしていきます。また、簡単な鬼遊びや体操、鈴やカスタネットなどの楽器を使ったリズム遊びを楽しんだりしながら、学級の中で自分なりに動いたり、表現したりする楽しさを感じられるようにしていきます。

七夕に向けては伝統行事に親しみながら、笹飾り作りを楽しんでいます。扱いはなれてきたのりやクレパスを使って、「自分で作れた！」という嬉しさを感じられるようにしていきます。

プール遊びでは、約束を知り守りながら、水の心地よさを感じ、伸び伸びと動くことを楽しめるようにしていきます。

★5歳児 にじ組

今月は、自分なりのめあてに向かって取り組む活動がたくさんあります。

七夕飾り作りは、完成までの見通しをもちながらじっくりと進めていきます。ハサミやのり、ステイプラーなど、これまでに使ったことのある道具を用いて、少し難しい製作にも挑戦します。まっすぐ切る、きれいに折る、長く繋げるなど、一人ひとりが自分なりのめあてをもちながら、楽しんで作れるようにしていきます。

今年度の水遊びは、高円寺学園のプールに遊びに行き、水に触れる気持ちよさや開放感を味わいます。顔を水につける、水の中で体を伸ばす、浮くなど様々な動きを経験しながら自分なりのめあてをもって伸び伸びと体を動かせるようにしていきます。園内でも、テラスでの色水遊びやシャボン玉など、水に触れる遊びをたくさん取り入れていきます。

また、たんぽぽ組のときから大切に育ててきたジャガイモや、テラスで育てているキュウリ、ピ

引き取り訓練を終えて

6月3日（金）引き取り訓練への参加ご協力ありがとうございました。「歩いて子供園に来るのは大変でした。」「もっと遠いと思っていました。」などいろいろな声が聞かれました。お子さんと手をつないで歩きながら、「道路には、倒れそうなものがいっぱいだね。」と話したという親子もいました。

近頃、日本のあちこちで発生している地震や豪雨などの災害。災害が発生すると水道や電気といったインフラが止まってしまうたり、道路が通行止めになり周囲の状況が変わってしまうたりして、普段通りの生活が送れない可能性があります。

子供園では、もしものときに備えて、避難訓練をしたり、非常食や水の備蓄をしたりしています。避難しなければならなくなったときのことを、ぜひご家庭でも話し合っておきましょう。

